

三学期の自由参観日

平成24年1月25日

今回の自由参観日に、次のような活動を行いましたので紹介します。

全員で煙体験

消防署より機材を借用し、校庭にテントを組み立てた中に煙を充満させ、真っ白で見えないテントの中を通り抜ける体験をしました。煙は無害で、少し甘〜いにおいがするものでしたが、中は仕切りの壁があり、それを手探りで触りながら通り抜けました。子ども達も先生方も初めての体験者が多く、これが本当の有害な煙だったら大変だという思いを強く持ちました。



こわかった！



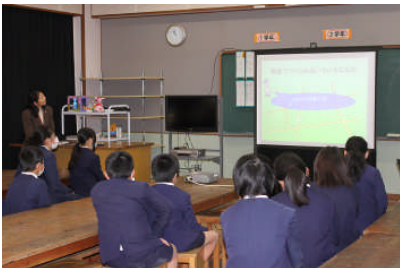
何もみえない！



やっとでられた！

税と生活を学ぶ

5年生と6年生は、法人会より二人の税理士さん講師として派遣していただき、租税教室に参加しました。税の仕組みや小学校6年間には、小学生一人に対して約92万円の税金がつかわれていることがわかりました。また、税がなくなると警察や消防、ゴミ収集をはじめ、今まで当たり前のように受けてきた公共サービスが有料になったり、生活がものすごく不便でお金のかかるものになることを身をもって知りました。



どんな税があるの？



税金の使われ方は？

三世代交流会

1年生は、生活科の授業の中で地域のお年寄りと交流をしました。大場市民センター長さんたちのご協力により、体育館で、皆さんと普段市民センターで行っている高齢者クラブでの遊びや、羽根つき・お手玉などのたくさんの昔の遊びを一緒にしました。自由参観に訪れたお父さんやお母さんも入り、楽しい時間を過ごすことができました。交流会を終えた1年生は、「おじいさんやおばあさんが親切におしえてくれてとっても楽しかった。」と大喜びでした。また機会があったら、交流会を行っていきたいと思います。



5点をわらって！



けん玉はこうやって！



羽根はこう持って！